

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホームすみれ

作成日 : 平成25年1月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	玄関付近に設置した重要事項説明の中には、苦情相談窓口の公的機関の表示があるが、重要事項説明書の中には表示が無い。	重要事項説明書の中に、苦情相談窓口の公的機関の表示を行う。	重要事項説明書の中に苦情相談窓口の公的機関の表示を行う。 ・山都町役場 健康福祉課高齢者支援係 ・山都町地域包括支援センター ・熊本県国保連 介護サービス苦情・相談窓口	1ヶ月
2	35 (13)	地震に対する机上の研修が十分できておらず、地震の訓練をしていない。	地震災害に関する職員研修を行い、実際の職員の対応を学ぶと共に、入居者の訓練の機会を設ける。	地震災害のビデオ等を通じた職員研修を実施し、実際の地震災害の訓練を行い、入居者や職員の地震災害への危機意識を高める。	6ヶ月
3	〃	運営推進会議の委員や家族が参加した災害訓練は行った事が無い。	運営推進会議の委員と家族会合同での火災訓練を行う。	運営推進会議において、家族会も参加した入居者の火災訓練を行い、グループホームでの火災に関する認識を深める。	12ヶ月
4	〃	災害を想定して備蓄の研修は行っているが、実際の備蓄はしていない。	最低限必要と思われる備蓄をする。	再度、備蓄について職員研修を実施し、最低限必要な備蓄とその管理をする。	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。